

## 風景デザインに関する取り組み

現在、社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部では、積極的に風景立国九州における風景づくりに取り組んでいます。取り組みの中から「風景デザイン研究会」の支援に関するご紹介します。

### 風景デザイン研究会への活動支援

風景デザイン専門の学識者の先生方を中心に、2006年7月に「風景デザイン研究会」を立ち上げに全面的に協力しました。現在も、研究会の運営や技術者育成に力を注いでいます。

### 風景デザイン研究会の設立趣旨

豊かな自然と人の情けに溢れる故郷を再び取り戻すためには、まずその器である公共空間を守り、育てることが大切です。人々が暮らす場所こそが、心地よく整えられておく必要があります。さらに、景観法の施行により、「美しい地域」を創ることが住民の目標となりました。しかし現実には、縦割りの事業計画による全体性の欠如、調査から施工まで引き継がれるべき設計意図の一貫性の喪失、官民の担当者めまぐるしい異動による長期事業における責任の所在の不明確さ等々、問題は山積しています。これらの諸問題を解決するためには、風景に関わるすべての人が、自ら汗をかくと同時に、互いの垣根を取り払いともに働く必要があります。しかもそのような活動は、子供たち、孫たちの時代に実を結ぶような息の長いものになるはずですが、まずは、志を同じくする人々が集い意見や情報を交換する場が必要であると考えました。また、そのような場をもとに、実際の仕事が動いていくような組織を作ること重要で、さらに、このような活動を各地域で担っていく人材の育成も急を要する問題です。上記の問題意識に基づき、「風景デザイン研究会」の発足を決意した次第です。

2006年7月  
風景デザイン研究会 会長 小林一郎  
副会長 島谷幸宏

## 4つの活動方針

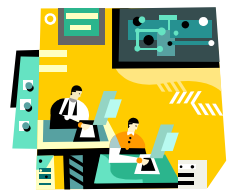
### 1) 社会啓発活動

展示会・シンポジウム等を通じて、九州における風景の重要性や、風景を創る仕事はどのようなものかを社会に効果的にアピールする。



### 2) 研究・調査・実践活動

様々な研究・調査・実践を通じて、風景の維持・育成・復元に必要な知識・ノウハウの蓄積を進めるとともに、風景を創る仕事とはいかにあるべきかを形で提示する。



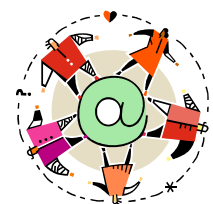
### 3) 人材育成活動

研修会・勉強会を開催し、風景に関連した様々な分野の人材を育成する。(仕事の担い手としての専門家の育成、仕事の創出者・管理者としての行政マンの育成、仕事の主体者・監督者としての市民の育成、将来を担う人材としての学生の教育)



### 4) 専門家と行政・NPO・市民を繋ぐネットワークの構築

風景の維持・育成・復元を効果的に進めるために、関係する様々な立場の人々・組織の間でネットワークを構築する。上記3項目を通じてネットワークを構築する



## 風景デザイン研究会の主な事業の紹介

シンポジウム開催や景観関連の国際会議への支援、学生や社会人の風景デザイン教育支援にあわせて、会員の募集や、HP の立ち上げ等による研究会の認知・広報活動を行ってきました。

### 2007/06/22-24 第2回・風景デザインワークショップ

九州大学西新プラザにて開催されました。初日の22日には、景観工学のパイオニアである東京工業大学名誉教授の中村良夫先生に「風景はデザインできるか?」という題目でご講演をいただき、その後のパネルディスカッションにも参加いただきました。2日目には、九州各地で取り組まれている先進的な事例について「デザイン」「協働、市民参加」「景観形成の仕組み」の3つのテーマで、関係者からのご報告をいただき、会場全体でディスカッションを行いました。また3日間通して、模型やパネルによる展示会も行いました。

# 風景デザインワークショップ

シンポジウム | 事例発表会 | 展示会

九州の風景を動かす



## 第2回・風景デザインワークショップ 【シンポジウム | 事例発表会 | 展示会】～九州の風景を動かす～

### シンポジウム【1日目】

日時 | 平成 19 年 6 月 22 日 (金) 14:00-16:30

場所 | 九州大学西新プラザ 2 階大会議室

14:05-15:05 基調講演「風景はデザインできるか？」

- 古河総合公園の知的冒険 -

講演者：中村良夫[東京工業大学名誉教授]

15:20-16:10 パネルディスカッション

パネラー：中村良夫[前掲]

小林一郎[熊本大学/本会会長]

コーディネータ：仲間浩一[九州工業大学]

16:10-16:25 質問タイム



### 事例発表会【2日目】

日時 | 平成 19 年 6 月 23 日 (土) 10:00-17:00

場所 | 九州大学西新プラザ 2 階大会議室

10:00-11:30 a. デザインの試行錯誤を考える

発表事例：五ヶ瀬川激特事業，遠賀川直方地区

パネラー：下岡敏樹[国土交通省延岡河川国道事務所延岡出張所技術係長]

内山雅仁[株式会社内山建設代表取締役]，樋口明彦[九州大学]

コーディネータ：島谷幸宏[九州大学/本会副会長]

13:00-14:30 b. 協働のデザインを考える

発表事例：白川緑の区間，福教大附属福岡小学校内広場

パネラー：星野裕司[熊本大学]，柴田久[福岡大学]

コーディネータ：田中尚人[熊本大学]

14:45-16:15 c. 景観形成の仕組みづくりを考える

発表事例：九州地方整備局景観形成管理システム，

矢部川流域景観テーマ協定

パネラー：包清博之[九州大学]

川口芳人[九州地方整備局企画部建設専門官]

吉田信博[福岡県建築都市部都市計画課長]

コーディネータ：小林一郎[前掲]



### 展示会

日時 | 平成 19 年 6 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)

場所 | 九州大学西新プラザ 1 階展示コーナー



2006/09/11-18 九州デザインシャレット 2006

九州デザインシャレットとは、KL2(Kyushu Landscape League/主に九州で景観デザインを学ぶ学生、OB・OGのネットワーク)と風景デザイン研究会の主催による合宿型設計演習です。土木、建築、ランドスケープ、インダストリアルデザイン、環境等に関わる者を対象として、専門家の指導のもと、実際のまちづくり課題に短期間集中して取り組むものです。昨年に続き2回目を迎える本年度は、熊本県宇城市三角町を舞台に9月11日から18日の全8日間の日程で開催されました。



社会人景観トレーニング

『風景デザイン研究会 [ 風景デザイン研修カリキュラム (河川編) ] 』

～ 風景デザインをマネジメントする力を身につける!! ～

主催：(社)建設コンサルタンツ協会九州支部 / 風景デザイン研究会

風景デザイン研究会の会員の方を対象として、2泊3日の合宿スタイルでの「風景デザイン研修カリキュラム (河川編)」を企画いたしました。今回の風景デザイン研修は、風景づくりに関わる中堅技術者の方を対象として、第一線でご活躍されている講師陣によるカリキュラムを受講していただき、景観マネジメント力の向上を目指すものです。



【開催内容】

日 時 | 平成 19 年 5 月 17 日 (木) ~ 5

月 19 日 (土) 2 泊 3 日

場 所 | 福岡県直方市内 (遠賀川河川整備現場) および九州大学伊都キャンパス

対 象 | 中堅技術者レベル

平成19年年度 社会人景観研修カリキュラム (河川編)		2017年5月17日(木)		2017年5月18日(金)		2017年5月19日(土)	
午前	開会式 研修カリキュラムの紹介	10:00-11:30	11:30-12:30	13:00-14:30	14:30-16:00	16:00-17:30	17:30-19:00
午後	講師による現場での実地研修 「河川沿いの景観づくり」	13:00-14:30	14:30-16:00	16:00-17:30	17:30-19:00	19:00-20:30	20:30-22:00
夜間	研修会 研修カリキュラムの紹介	19:00-20:30	20:30-22:00	22:00-23:30	23:30-01:00	01:00-02:30	02:30-04:00

● 研修会  
 - 風景デザイン研究会  
 - 九州大学  
 - 国土院  
 ● 講師  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 ● 研修会  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 ● 研修会  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二  
 - 国土院 国土景観課長 佐藤 浩二

## 風景デザインに関するコンサルタントからの3つの問題提起

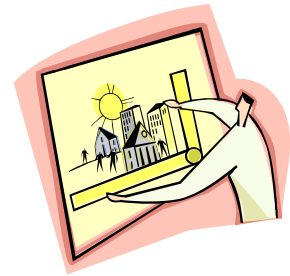
平成 18 年度の「風景デザイン研究会 シンポジウム」にパネラーとして参加し、建設コンサルタントの立場から次の話題提供をしました。

### 1. 風景デザインの教育の場・実践の場の確立

- 小中学校はもとより、高校等でも、デザインの教育というものはなされていない。ビオトープ等の自然界の生物への現場教育は、総合学習等の一環で始まっているが、風景や街並み等の視点での教育はなされていない。
- 建設系学科でデザインを学んだ学生の就職の場がない。
- デザインという職域が成立しておらず、土木デザインの仕事で実績を積んでも単発的な要請で仕事を受けるような状況である。
- 土木系の技術者は、デザイン関連の基礎をしっかりと学んだ経験がない技術者がほとんどである。コンサルタント自身も、デザイン等についてしっかりと学ぶべき。
- 企業（コンサルタント）も技術者も、デザインが重要との認識はあるが、デザインで人材育成しても飯が食えるのかという不安があり、しっかりした取り組みになっていない。

#### 問題提起

デザインという技術で飯が食えるよう「**デザインに関する職域**」を確立しなければ、風景デザインのしっかりした技術者は育ってこない。しっかりした風景デザイン技術者が育たなければ、いい風景は生まれてこないし、いい風景を残せない。



### 2. 「風景デザイン」の重要性の認識

- 個別の景観デザインを包括する、上位計画としての「風景に関するビジョン」のようなものがなければ、まとまりのある、よい風景は生まれてこないのではないか。
- 「風景デザイン」の必要性、重要性を認識することが大切である。
- 「風景デザイン」とは、単なる視覚的なデザインでなく、風 せせらぎの音 木の香り 等の五感に働きかけるものである。
- 良い風景とはどんなものか、意識して考えた事がないのが実態ではないか？いい風景というものを理解するためにも、「九州の風景」のような写真集や、いい風景の場所の紹介を行う情報提供が必要でないか。また、そのような風景に接する機会を積極的に持つべきでないか。
- 公共事業が再編される中で、江戸時代には確かにあった日本人本来のデザイン観、地域性を取り戻す、時代の要請・転換期さらには需要があること。

#### 問題提起

「九州の風景」、「心に残る風景」等、「風景」というものを、広く市民が認識し、理解するような仕掛けが必要ではないか。その上で、人々が望む風景のあり方のマスタープランのようなものを策定することが必要ではなからうか。



### 3. 「いい風景デザイン」の判定基準づくり

- 心象的なものも絡むであろう「いい風景デザイン」に対する判断基準はどうするのか？
- 絵画のような目利きが見極めるようなものなのか、客観的な評価尺度のようなものがつくれるのか？ また、誰が、そのような判定をすべきなのか。

#### 問題提起

きちんとした「風景デザイン技術者」であることを認定するような仕組みはできないものか（資格の制度づくり（風景デザイナー1級等）、実績（GOOD 風景デザイン賞受賞技術者等）等・）



## 「風景デザイン研究会」正会員および協賛会員のご案内とおねがい

いわゆる「景観法」が制定されたことを契機に、まちづくりや公共施設等の整備に当っては、地域の風土や風景との調和を図り、もって良好な景観形成の促進、美しく風格のある国土の形成を図ることが強く求められるようになってきました。

それによく応えるには、私たち建設コンサルタントのデザインに関する常日頃の研鑽はもとより、景観・風景専門の学識者や関係行政担当者、私たち産官学一体となった取り組みが必要です。

このような取り組みの必要性を受け、学識者の方々と JCCA 準備会メンバーにより、平成 18 年度 7 月に「風景デザイン研究会」を設立しました。

設立総会、シンポジウム等をお互いにかかわりに、風景デザイン等に関する情報や技術の発信拠点として、また、各地で抱える景観デザインの相談受け皿として、技術力をフルに活かした地域貢献のための組織として、活発で、かつレベルの高い技術を提供していくことを目標に、学識経験者の方々を主体に、産官学一体となって取り組んでいます。

研究会の活動内容は、主に次の 5 つのテーマを持って取り組んでいます。

- 風景デザイン技術に関する人材育成
- 風景デザイン技術に関する社会啓発活動
- 風景デザイン技術に関する調査・研究活動
- 風景デザインにおける専門家と行政・NPO・市民とのネットワーク構築
- 公共事業等における風景デザイン技術の実践活動、風景デザイン技術者情報の整備・開示

今回、研究会活動の目的・趣旨にご賛同いただき、ご支援いただきたく、協賛会員としての登録をお願いするものです。なお、協賛会員には、研究会活動の報告、シンポジウム等のイベントの際の協賛会員名の表示および開催のご案内等を行うことを予定しています。

募集対象：正会員【個人】、協賛会員【企業】

平成 19 年度 会員登録受け付け締め切り：随時

入会希望の企業は、JCCA 九州支部事務局まで、ご連絡ください。参加申込書をお送りします。

TEL:092-434-4340

FAX:092-434-4342

### (参考) 風景デザイン研究会 学識者メンバー

- 会長 小林一郎(熊本大学大学院工学部自然科学研究科教授)  
 副会長 島谷幸宏(九州大学大学院工学研究院環境都市部門教授)  
 樋口明彦(九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門准教授)  
 仲間浩一(九州工業大学工学部建設社会工学科准教授)  
 柴田久(福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授)  
 田中尚人(熊本大学大学院工学部自然科学研究科准教授)  
 星野祐司(熊本大学工学部環境システム工学科准教授)  
 高尾忠志(九州大学大学院工学研究院環境都市部門学術研究員)  
 石橋知也(福岡大学工学部社会デザイン工学科助手)

### 風景デザイン研究会内規【案：一部抜粋】

(1) 本会の会費については、次の通りとする。

- |         |    |          |
|---------|----|----------|
| 1. 正会員  | 年額 | 5,000 円  |
| 2. 学生会員 | 年額 | 1,000 円  |
| 3. 協賛会員 | 年額 | 50,000 円 |

風景デザイン研究会の先生方のご紹介

M A N A G I N G S T A F F

一所懸命の実践



土木デザイン史

小林 一郎  
熊本大学大学院  
自然科学研究科教授

九州でゆったりと暮らしつづける。その基盤となる空間を心地良いものにした。つらいことがあつたとき、風景が大いに助けてくれることを子供たちに伝えたい。志を同じくする人々が集い、暮らしについて楽しく語り合いたい。このような意の長い活動の実践を「一所懸命」と呼ぶことにしよう。

【略歴】  
1976年：熊本大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了 1989年：工学博士（京都大学）1992年：Ecole Centrale de Lyon国立リヨン中央工科大学（フランス）固体力学教室訪問研究員（94.3まで）1997年：（社）土木学会論文賞受賞 1997年より現職

風景は社会資本



河川工学, 河川環境

島谷 幸宏  
九州大学大学院工学研究院  
環境都市部門教授

九州は自然や文化が豊かな多種多様な風景からなっています。九州の特徴を十分に理解し、高い技術を獲得し、そこに美しい風景を展開させる必要があります。私たちはこれまであまりにも風景に無関心でした。人は風景の中で生まれ、風景の中で育っていきます。感性豊かな次世代を生むために美しい九州づくりが必要なのです。

【略歴】  
1980年：九州大学大学院修士課程修了 建設省土木研究所河川環境研究室を経て 国土交通省九州地方整備局筑後河川事務所所長を経て 2003年より現職

美しい風景は九州の誇るべき資産



景観デザイン・都市計画

樋口 明彦  
九州大学大学院工学研究院  
建設デザイン部門准教授

九州は、世界に誇れる美しい国だ。悠久の時に育まれた固有の風景は、東洋のトスカナと呼ぶに相応しい。国際的な滞在型観光リゾートを構想するに足る十分な素質を備えている。本研究会の立ち上げにより、九州風景の資産としての価値の再評価が望み、包括的な風景保全・育成の推進が九州のあらゆる地域で展開していくことを期待している。

【略歴】  
1984年：東京大学工学部土木工学科卒業 1998年：ハーバード大学大学院博士(Doctor of Design) 1999年4月より現職

公のチカラを集め風景のカタチへ



景観デザイン

仲間 浩一  
九州工業大学工学部  
建設社会工学科准教授

風景デザイン研究会は、九州での景観デザインの実現に関わろうとする全ての主体に開かれた活動体です。九州という環境で頑張ろうという技術者や市民が、所望や立場をしっかりと認めあひながら、互いの美しい社会資本と人材を残すために協力し合える。そのような「場」を作り支えるための力強い基盤となれるよう、全力を尽くしていきます。

【略歴】  
1992年：東京工業大学大学院修士課程修了 1992年～東京工業大学工学部社会工学科助手 1995年より現職 2006～2008年度文部科学省現代G-P「地球環境再生のための地域支援型実習の展開」取組責任者 九州工業大学工学部地球環境支援教育センター長

地域を育てる一風景という力



景観・まちづくり

柴田 久  
福岡大学工学部  
社会デザイン工学科准教授

風景とは、私たちの生活を支える「舞台」とも言い換えられるのではないのでしょうか。それは、私たちの日常的な行動や振る舞いが風景を構成する大きな要素であること、つまり、風景と人との一体的な関係が見出されます。私は風景のデザインと共に、九州における地域とコミュニティのあり方を考えていきたいと思っています。

【略歴】  
2001年：東京工業大学大学院情報理工学研究所 博士課程情報環境学専攻修了 2001年：筑波大学大学院ビジネス科学研究科講師 2002年：西国学院大学社会学部講師 2005年より現職

地域の風土を学ぶ、作る、育てる



土木計高学、インフラストラクチャーデザイン

田中 尚人  
熊本大学大学院  
自然科学研究科准教授

九州へは、この4月に赴任しました。山がもりもり田舎や畑、まちやお城。そして海や島がある。美味しいものや賑やかな生活、何よりも人が温かく、そんな美しい風景がある。この九州の風土を学び、作り、育てる。美しい研究会にみなさんも参加してみませんか？私たちにぜひ、みなさんの美しい風景を語って下さい。

【略歴】  
1995年：京都大学工学部土木工学科卒業 1998年：同大学院工学研究科環境地球工学専攻 博士後期課程中退、同専攻助手 2002年：京都大学博士（工学）取得 2003年：熊本大学講師 2005年より現職

風景をデザインする仕事



土木デザイン

星野 裕司  
熊本大学大学院  
自然科学研究科准教授

風景とは、環境と人々を結びインターフェースだと思えます。それをつくり、改善し、あるいは、新しい結ばれ方を見つけること、つまり風景をデザインするということは、立派な仕事です。この研究会が、新しくも優しい、風景デザインに関するプロの集団であることを期待し、また私も皆様に負けないようにがんばっていきなさいと思います。

【略歴】  
1996年：東京大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻修士課程修了 1996年：（株）アプル総合計画事務所 所長 1999年：熊本大学工学部環境システム工学科助手 2004年：（社）土木学会論文奨励賞受賞 2005年：東京大学博士（工学） 2006年より現職

脳みそで汗をかくて手で考える



プランニング

高尾 忠志  
九州大学大学院工学研究院  
環境都市部門研究員

まるでずっと前からそこにあつたようで、でもそこを利用する人への気配りが追加まで行き届いていて、そんな場所をデザインできたらと思います。そしてモノをつくるだけでなく、それが地域の力によつて大切に育てられ、人と人の関係を生み出すキョトの舞台になつてくれたら、きっとそれ以上の喜びはないだろうと思えます。

【略歴】  
2002年：東京大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻修士課程修了 2002年：（株）アトリエ74 建築都市計画研究所研究員 2004年：九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門助手 2007年より現職

若い力は風景デザインの原動力



景観デザイン

石橋 知也  
福岡大学工学部  
社会デザイン工学科助手

私は生まれて以来、九州の風景を常に近くに感じながら育ちました。ここ20年間で九州の風景は全てではありません。というデザイン思想を持たないまま変化しようと思えます。これから風景は若い力によって確実に動きまわります。そのきっかけを与えること本研究会の使命ではないでしょうか。

【略歴】  
2003年：九州大学工学部地球環境工学専攻 2005年：同大学院工学部都市環境システム工学専攻修士課程修了 2006年：同大学院工学部都市環境システム工学専攻博士後期課程中退 2006年より現職

- 【福岡県】
- ・柳井川多自然川づくり(島谷)
  - ・福岡打ち水大作戦(島谷)
  - ・福教大附属福岡小校内オープンスペース設計(柴田・石橋)
  - ・遠賀川河川敷景観設計(樋口・高尾・石橋)
  - ・志摩町田園居住のまちづくり条例およびデザインガイドライン作成(樋口・高尾・石橋)
  - ・宗像市大島港景観設計(柴田・石橋・島谷)
  - ・九州みなとオアシス委員会(樋口、柴田)
- 【佐賀県】
- ・石井橋(島谷)
  - ・アザメの瀬(島谷)
  - ・鹿津みなとまちづくりデザイン専門家会議(樋口)
  - ・高瀬川本ダム、副ダム景観設計(樋口)
  - ・鹿津市景観基本計画策定(樋口、柴田)
- 【長崎県】
- ・川棚川水辺整備(島谷)
  - ・厳原臨港道路整備事業(仲間)

- ・厳原町大町通り線(樋口・高尾・石橋)
  - ・久原池田線景観設計(小林・星野)
  - ・長崎県東上為石線景観設計(樋口・高尾)
  - ・さざせ港まちづくりスタジオ(樋口)
  - ・日野川橋詰広場デザイン(小林・星野)
  - ・小浜北有馬線景観設計(星野)
- 【熊本県】
- ・小国町「杖立温泉景観整備基本計画」策定(仲間)
  - ・まちづくりオフィス「ライフステーション杖立ラポ」運営(仲間)
  - ・都市計画道路見直し検討委員会(柴田)
  - ・熊本駅周辺都市デザイン(小林・星野)
  - ・白川緑の区画景観デザイン(小林・星野)
  - ・大津町街路サインデザイン(星野)
  - ・緑川甲佐地区護岸設計(田中・星野)
- 【大分県】
- ・山国川青地区河川改修事業(仲間)
  - ・由布市湯の坪街路周辺景観計画(高尾・島谷・田中)

- 【宮崎県】
- ・大淀川河野整備(島谷)
  - ・加久藤トンネル景観デザイン(小林・星野)
  - ・五ヶ瀬川激特事業アドバイザー(島谷)
- 【鹿児島県】
- ・鶴田ダム周辺柳田浄化施設(島谷)
  - ・川内川虎居地区激特事業アドバイザー(島谷・高尾)
- 【その他】
- ・錦川南岸地区水辺の景観検討(山口県) (田中)
  - ・高松港沿岸地区デザイン検討(香川県) (柴田)
  - ・善通寺市駅周辺まちづくり検討(香川県) (柴田)
  - ・美濃路大垣まちづくり、郡上八幡水辺景観調査、岐阜市市民交通会議(岐阜県) (田中)
  - ・旧南郷洗堰保存活用プロジェクト(滋賀県) (田中)

主な関係プロジェクト

風景デザイン研究会の組織と連絡先



**社会啓発活動**  
展示会・シンポジウム等を通じて、九州における風景の重要性や、風景を創る仕事はどのようなものかを社会に効果的にアピールする。

**研究・調査・実践活動**  
様々な研究・調査・実践を通じて、風景の維持・育成・復元に必要な知識・ノウハウの蓄積を進めるとともに、風景を創る仕事とはいかにあるべきかを形で提示する。

**人材育成活動**  
研修会・勉強会を開催し、風景に関連した様々な分野の人材を育成する。(仕事の担い手としての専門家の育成、仕事の創出者・管理者としての行政マンの育成、仕事の主体者・監督者としての市民の育成、将来を担う人材としての学生の教育)

**専門家と行政・N.P.O・市民を繋ぐネットワークの構築**  
風景の維持・育成・復元を効果的に進めるために、関係する様々な立場の人々・組織の間でネットワークを構築する。上記の3項目を通じてネットワークを構築する。

**Organization chart**

```

    graph TD
      A[会長・副会長] --- B[理事]
      B --- C[事務局]
      B --- D[大学]
      B --- E[建設コンサルタンツ協会九州支部]
      B --- F[行政(アドバイザー)]
      D --- D1[正会員(教員)]
      D --- D2[学生会員(学生)]
      E --- E1[正会員(会員企業個人)]
      E --- E2[賛助会員(会員企業)]
      F --- F1[正会員(個人)]
      G[土木学会] --- G1[子会]
  
```

**連絡先**  
**風景デザイン研究会事務局** (九州大学大学院工学研究院 建設デザイン部門内)  
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学伊都キャンパス ウェスト2号館1104号室  
TEL.092-802-3392 FAX.092-802-3391 URL: <http://www.fukei-design.com/>

社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部 技術部会 環境・都市等技術委員会メンバー

平成 19 年 8 月現在

氏名	会社名	部会	委員会	役職
矢ヶ部輝明	(株)建設技術研究所 九州支社	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員長
波木 健一	(株)福山コンサルタント	技術部会	環境・都市等技術委員会	副委員長
今林 顕二	パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社	技術部会	環境・都市等技術委員会	副委員長
平井 一男	(株)協和コンサルタンツ九州支社	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
前田 武	第一復建(株)	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
森脇 亨	復建エンジニアリング(株)福岡支社	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
江中 正宏	(株)長大 福岡支社	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
濱田 康男	(株)エスケイエンジニアリング	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
川窪 一郎	西日本コンサルタント(株)	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
堀川 和人	(株)オリエンタルコンサルタンツ	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
松尾 敏彦	国際航業(株)	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員
山本慎太郎	西日本技術開発	技術部会	環境・都市等技術委員会	委員